

講習日時：令和7年8月7日(木) 10:00～16:30
講習名：知っておきたい！橋の歴史、種類と役割～身近な橋から長大吊橋まで～
参加者：37人

参加者所属

<学校種>		<担当教科等>（複数回答有）	
小学校	19	社会	7
中学校	9	理科	4
高等学校	2	数学	1
特別養護学校	6	外国語	2
学生	1	技術・家庭科	2
		音楽	1
<職名>		工業	1
教諭	36	保健体育	2
		6年生担任	1
		1年生	1
		特別支援学級	4
		支援部（地域支援等）	1

講習を選んだ理由（複数回答可）

1受講者から勧められて	6
2会場へのアクセスが良いから	6
3講義だけでなく、見学や実習などがあるから	30
4申し込みサイトでたまたま見つけて	10
5その他	
中堅研と講習にとっても興味があった	1
研修の一つとして	1
興味があったので	1

講義内容で評価できること（理解できたこと）

橋の種類、構造や役割について理解できた。（多数あり）
斜張橋と吊り橋の違い、トラスの仕組みがよく分かりました。（複数あり）
歴史はもちろん、専門的知識を得ることができた。
様々な工夫、技術で橋の安全が保たれていること。
橋という身近なものを題材にその見方や考え方が広がった。
橋が大変身近に感じる事ができた。
橋を実際に見学したり、強度の実験ができたりと、体験することができてとてもよかった。
実習があったので興味をもって体験できました。（多数あり）
映像やワークショップを効果的に活用されていた。
今回はできなかったが、実際に橋の上に登れること。
教員として働いている中で、普段得ることができない知識を得ることができました。
話もコンパクトで分かりやすかった。

内容で改善すべきこと（わかりにくかったこと）

紀淡連絡道路や豊予海峡道路に対する本四高速の思い（着工したいのか、今の技術で完成までにどのくらいかかるかなど）が知りたかった。
トラス橋の“色々なトラス”という部分で「なぜこんな多くの種類があるのか」という点で、費用がかかるのか、デザインなのか。という部分です。
子どもたちの前でバスタの実習をしようとすると、装置を作らなければならないので、その作り方も教えていただきたいかったです。
改善ではないが、中3の理科で「力の分解」を学習する際に橋の話をするので、その部分との関連が内容にあるとうれしいです。
天候に左右されるので、日程変更も考えてほしい。
実際の見学ができなかったのが、後日見学できるなどの対応があるとうれしかったです。
橋の科学館の案内で、後ろの方にも聞こえる声で話してほしい。
昼休憩が85分あった。（もう少し短くていい）
特になし・無回答

今後受けてみたい講習の内容（複数回答可）

1防災学習（地震）	20
2防災学習（水害・土砂）ダム・川・山・下水	16
3上水道学習 ダム・川・上下水	11
4土木遺産学習 道路・トンネル・橋	13
5資源再生学習 ゴミ処理場	11
6「持続可能な開発」教育（環境）	8
7地域の交通について 道路・港・空港・鉄道	21
8身近な公共施設についての学習 道路・橋	11

今後受けてみたい講習内容や見学したい場所が具体的にあれば教えてください。

神戸空港（5）

伊丹空港

空港の希望者が多く受講できなかったので関空以外も増やしてほしい

神戸港

余部鉄橋

黒川ダム

阪神甲子園球場

六甲ケーブル

垂水駅付近の再開発（タワマンなど）

瀬戸大橋列車撮影体験

自然エネルギー関連施設、ダム、発電所（原子力、風力、潮力など）

スーパーコンピューター京、スプリング8、防災センター（三木）

高速道路、トンネル、地下道など普段見ることのできない場所

明治期に作られた土木遺産

防災学習（地震）、野島断層など

汚れた水を飲めるようにする方法。水不足の災害時に使える知識を学びたい。

上下水道の耐用年数が上限を超えているものが増えているので、今後のインフラのあり方について

次こそは明石海峡大橋主塔に登ってみたい。（2）

「土木」についてどう思っていましたか？またこの講習を受講して変わりましたか？

森林のイメージが強かったが、町の建物以外全て、というのはイメージが変わった。

字面だけを見て、林業に近いイメージをもっていたが、インフラ全体を支えていることがわかり興味をもちました。

土や木材にかかわるものだと思っていたが、人が作る構造物や構築物全般や都市やインフラなどにかかわるものなのだと知りました。

肉体労働というイメージが強いが、科学的で様々な分野があると感じた。

建物や道路を作る工事のイメージが強くありましたが、多くの技術の開発で支えられていることがわかりました。

材料や構造というイメージがありましたが、環境や計画、また河川も土木ということは知らなかったので、先生の言っておられた建物以外という意味がよくわかりました。

道路やダムというイメージしかありませんでしたが、多岐にわたることが知れた。

土木の抱えている範囲の広さに驚いた。これから、橋や道路などに対する見方が変わった。

建物以外の私の生活を支える大切なものという認識に変わった。

私たちの生活を支えるとても大切なインフラ事業であるということが分かりました。

「土木」について考えたことがあまりなかったのですが、私達のくらしに欠かせないものだと感じました。すばらしい仕事だと思いました。

自分のイメージの倍以上が土木の役割でした。生活の基盤となる事業なので、もっと子どもたちにも正しく伝えたいと感じました。

今まで触れたことのない分野でした。今回受講したことで、大変興味がわきました。今後も学んでみたいと思いました。

難しいイメージでした。でも、こうやって話をじっくり聞いたり、実験することで興味がわきました。楽しいです。

技術者の方、土木の方には、感謝、感謝です。

社会にとって必要不可欠な分野、昔のマイナスイメージは変化しつつある。

人々の生活の基盤であり、とても大事な事業であると理解している。今後も、普段は見学できないような所を見てみたい。

（キムタク主演の「Believe-君にかける橋-」で少し興味をもっていた。）

考えたことがないので比較できません。